



合意した。同時に、野党連合が勝利した場合、CHPを除く5党の党首に加え国民の人気が高い首都アンカラと最大都市イスタンブールの市長（ともにCHPの政治家）を副大統領にすることも決めた<sup>2</sup>。国民連合はエルドアン政権の強権化を批判し、2018年に導入された実権型大統領制の廃止と議院内閣制の再導入を公約の目玉に掲げ選挙戦を戦った。

クルド系の人民民主党（HDP）は大統領選挙では独自候補を擁立せず、事実上クルチダルオール支持に回った。HDPに対しては非合法武装組織「クルディスタン労働者党」（PKK）のテロに関与したとして検察が憲法裁判所に解党を求めており、議会選挙でHDPの候補者は「緑の左派党」（YSP）から出馬した<sup>3</sup>。

エルドアンとクルチダルオールのほかに、ムハッレム・インジェ祖国党党首と、元国会議員のシナン・オアン（現在は無所属）が独立候補として大統領選に出馬した。インジェは2018年大統領選にCHPから出馬し落選、その後クルチダルオール党首との対立を理由に離党し祖国党を設立した。しかし今回の選挙では支持が広がらなかったこともあり、インジェは5月11日に撤退を表明した。オアンは反移民を掲げる勝利党など極右の泡沫政党が結成した「先祖連合」の支援を受けた。

5月14日の第1回目投票（投票率87.04%）では、エルドアン大統領が第1位となったものの、当選に必要な得票率50%に届かなかった（表1）。そのため、5月28日に2位のクルチダルオールCHP党首との決選投票（投票率84.15%）となり、エルドアン氏が52.18%の得票で勝利した（表2）。なお、決選投票では1回目投票で3位に終わったものの、得票率5.17%と事前の予想以上に健闘したオアンの動向に注目が集まったが、オアンはエルドアンを支持した。オアンはその理由について、「トルコ民族主義者としてHDPと協力することは自己否定になりかねない」と説明した<sup>4</sup>。

表1：大統領選挙第1回投票結果（在外投票含む）

候補者	得票率	得票数
レジェップ・タイイプ・エルドアン	49.52	27,133,849
ケマル・クルチダルオール	44.88	24,595,178
シナン・オアン	5.17	2,831,239
ムハッレム・インジェ（撤退）	0.43	235,783

出所：トルコ高等選挙委員会ホームページより筆者作成

2 “[Akşener Returns to ‘Table of Six’](#),” *Hürriyet Daily News*, March 6, 2023.

3 “[In Vote Setback for Erdogan, Turkey’s HDP Will Not Field Candidate](#),” *Reuters*, March 23, 2023.

4 “[Sinan Oğan Neden Erdoğan’ı Desteklediğini Açıkladı](#),” *Rudaw*, May 26, 2023.

表 2：大統領選挙決選投票結果（在外投票含む）

候補者	得票率	得票数
レジェップ・タイイプ・エルドアン	52.18	27,834,589
ケマル・クルチダルオール	47.82	25,504,724

出所：トルコ高等選挙委員会ホームページより筆者作成

次に議会選挙である。与党連合（AKP+MHP+YRP）は318議席を獲得し、議会で過半数議席を確保した（表3）。また、大統領選でエルドアンを支持したヒュダ・パルとDSPもそれぞれ議席を獲得しており、両党も含めると与党勢力の議席数は323となる。

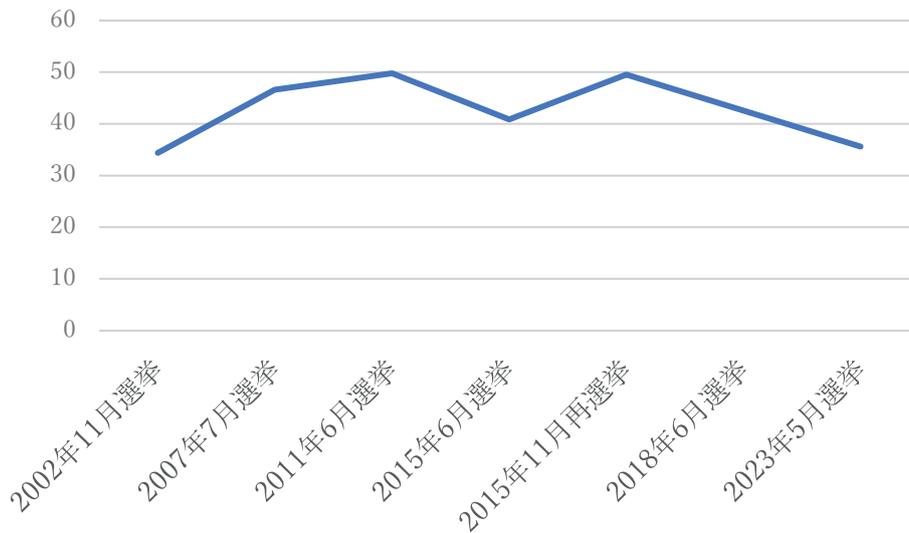
AKP 単独では263議席にとどまった。図1からもわかるように、実はAKPの得票率は近年伸び悩んでいる。今回の選挙でAKPの得票率は、2015年11月選挙からおよそ14ポイントも低下した。AKP票の一部はMHPやYRPなどの右派・保守派政党に流れたとみ

表 3：トルコ議会の政党別現有議席数

政党	議席数
公正発展党（AKP）	263
共和人民党（CHP）	130
緑の左派党（YSP）	57
民族主義者行動党（MHP）	50
善良党（İP）	44
民主主義進歩党（DEVA）	15
至福党（SP）	10
未来党（GP）	10
新生福祉党（YRP）	5
トルコ労働者党（TİP）	4
ヒュダ・パル（Hüda Par）	4
民主党（DP）	3
勤労党（EP）	2
人民民主党（HDP）	2
民主左派党（DSP）	1
合計	600

出所：トルコ大国民議会ホームページから筆者作成

図1：公正発展党の得票率推移（％）



出所：トルコ高等選挙委員会ホームページから筆者作成

られる<sup>5</sup>。したがって、AKP 単独での政権運営は不可能であり、エルドアン大統領は今後さらにトルコ民族主義政党や親イスラム政党に接近していくことになりそうだ。

一方、野党の国民連合は6党合わせて212議席にとどまった。「エルドアン政権の打倒」という共通目標の達成に失敗したことで、すでに国民連合は不安定化している。選挙前にクルチダルオール擁立をめぐり国民連合から一時脱退しその後復帰したİPの幹部は、選挙後、「国民連合は事実上終わった」との見方を示した<sup>6</sup>。またCHP内部ではクルチダルオール党首の責任問題が浮上している<sup>7</sup>。クルチダルオール本人は辞任の意向を示していないが、党内での影響力は弱まるとみられる。

### 3. 大統領就任演説

6月3日、エルドアン大統領は就任演説を行った。三期目を迎えた大統領は国民に団結と連帯を呼びかけ、「選挙期間中の怒りや論争は一旦終わりにしよう」と訴えた<sup>8</sup>。「融和路線」を打ち出したエルドアン大統領は、演説の壇上にトルコ社会を代表するさまざまな市民を座らせた（写真1）。たとえば、東方正教会の権威であるコンスタンチノーブル総主教庁の総主教バルトロメオス1世やユダヤ教のイツハク・ハレヴァ首席ラビをはじめとする宗教界代表者が、トルコ宗務庁のアリ・エルバシュ長官とともに出席した。また、2015年

5 間によれば、今回の選挙でMHPやYRPを支持したのは、エルドアン政権には不満を抱えているものの民族主義または宗教保守の傾向が強い有権者である。間寧「[エルドアンの総力選挙—2023年5月トルコ大統領国会選挙](#)」『IDE スクエア 世界を見る眼』2023年6月20日。

6 “[Seçim Geçti İttifak Bitti](#),” *Hürriyet*, June 1, 2023.

7 “[Kılıçdaroğlu İlk Kez Yanıtladı: İstifa Edecek Mi?](#)” *Cumhuriyet*, June 1, 2023.

8 “[President Erdoğan Highlights Unity, Fraternity in 1<sup>st</sup> Speech](#),” *Daily Sabah*, June 3, 2023.

にノーベル化学賞を受賞したアジズ・サンジャル（トルコと米国の二重国籍）や長年サッカー選手としてドイツで活躍しながら、エルドアン大統領との関係が問題視されドイツ代表からの引退を決断したメスト・エジル<sup>9</sup>、そのほか国際舞台で顕著な功績を収めたスポーツ選手、トルコ各地の学生・若者代表も参加した。さらに1974年のトルコ軍のキプロス侵攻や2016年クーデター未遂事件、そしてPKKとの戦いで負傷した兵士や殉職した兵士の遺族らも壇上に上がった<sup>10</sup>。こうしてエルドアン大統領は各界の代表を背にして就任演説を行い、自身が国民全体の代表であることをアピールしたのである。

写真1：大統領就任演説の様子



出所：Daily Sabah, “President Erdoğan Highlights Unity, Fraternity in 1st Speech,” June 3, 2023

#### 4. 新政権の顔ぶれと特色

エルドアン新政権の顔ぶれは大きく変わった。文化観光相および保健相以外の全閣僚が交代したためである<sup>11</sup>。

新政権の外交、国防、治安を担当するのは大統領の側近である。外相にはトルコの諜報組織である国家情報機構（MİT）のトップをこれまで13年間務めてきたハカン・フィダンが就任した。フィダンの後継者としてMİT長官に選ばれたのは、エルドアン大統領の外

9 エジルはドイツ生まれのトルコ系移民3世であり、結婚式にエルドアン大統領が立ち会っている。

10 “[Milletimiz, Cumhuriyet’in İkinci Asrını Türkiye Yüzyılı ile Taçlandıracaktır](#),” *Türkiye Cumhuriyet Cumhurbaşkanlığı*, June 3, 2023.

11 今回の議会選挙には文化観光相と保健相以外の閣僚全員が出馬し当選した。トルコでは閣僚の国会議員兼任は憲法で禁じられている。

交顧問であり大統領府報道官でもあったイブラヒム・カルンである。この2人の就任は外務省と諜報機関が対シリア外交などでより緊密に連携していくことを予見させる。国防相には前任のフルシ・アカルに続いて、現役のヤシャル・ギュレル国軍参謀総長が任命された。ギュレルは2016年のクーデター未遂事件の際、反乱軍側に一時拘束された人物で、事件直後にエルドアン大統領によりジャンダルマ（国家憲兵隊）司令官に任命されている。その後陸軍司令官を経て、2018年に参謀総長に就任した。2022年にエルドアン大統領はギュレルの任期を1年延長しているが、ここからは大統領のギュレルに対する信頼の厚さがかがえる。

また、国内のテロ対策を指揮する内相には、内務官僚として全国で県知事を歴任し、2018年からはイスタンブール県知事を務めてきたアリ・イェルリカヤである。2019年3月に実施されたイスタンブール市長選では、野党 CHP のエクレム・イマモール候補が僅差で与党 AKP の候補を破ったが、AKP の訴えを選挙管理委員会が受け入れ選挙のやり直しを決めた。しかし再選挙では再びイマモールが勝利し、6月27日に正式に市長に就任した。選挙のやり直しが決まり、イマモールの再選が確定する間にイスタンブールの市長代行だったのがイェルリカヤ県知事である。再選挙直前には、市職員が与党系候補に有利となるような広告を市内のあちこちに張り出していることをイェルリカヤ市長代行は黙認していると、イマモール候補が批判する一幕もあった<sup>12</sup>。

国家の存亡に直結する外交、安全保障、治安の担当大臣を自身の側近で固める一方、エルドアンは財政、通商、貿易といった経済担当にはテクノクラートをあてている。最も注目が集まる国庫・財務相には市場の信頼が厚いメフメト・シムシェキが復帰した。シムシェキは就任後、経済政策の正常化を示唆し、「合理的根拠に戻る」と述べた<sup>13</sup>。なお、シムシェキはトルコ南東部の寒村で生まれ育ったクルド系トルコ人で、非常に苦学して身を立てた人物である<sup>14</sup>。

---

#### 筆者紹介

所属：テンプル大学ジャパンキャンパス政治学科教授

略歴：1999年神田外語大学外国語学部を卒業後、2002年にトルコの中東工科大学政治行政学部にて修士号取得。2015年にユタ大学政治学博士取得。2013年よりテンプル大学ジャパンキャンパスで教える。また、2009年より（一財）日本エネルギー経済研究所中東研究センター外部研究員、2020年より昭和女子大学非常勤講師。主要業績に M. シュクリュ・ハーニオール著、新井政美監訳・柿崎正樹訳『文明史から見たトルコ革命 アタテュルクの知的形成』（みすず書房、2020年）、間 寧編『シリーズ・中東政治研究の最前線① トルコ』（ミネルヴァ書房、2019年）、小笠原弘幸編『トルコ共和国 国民の創成とその変容——アタテュルクとエルドアンのはざま』（九州大学出版会、2019年）など。

---

---

12 “‘Önemli Bir Adım Attık’,” *Anadolu Ajansı*, June 18, 2019.

13 Nevzat Devranoglu, “[Turkish Economy to Return to ‘Rational Ground’](#), *New Finance Minister Says*,” *Reuters*, June 4, 2023.

14 シムシェキの生い立ちについてはたとえば、Fatih Çekirge, “[Bir Bakan Olarak Mehmet Şimşek’in Portresi](#),” *Hürriyet*, June 4, 2023.

表4：閣僚名簿と略歴

職名	氏名	略歴
大統領	レジェプ・タイイプ・エルドアン	首相，公正発展党党首
副大統領	ジェヴデト・ユルマズ	開発相，経済担当副首相
法相	ユルマズ・トゥンチ	弁護士，国会議員
家族・社会サービス相	マヒヌル・オズデミル・ギョクタシュ	ベルギー国会議員，駐アルジェリア・トルコ大使
労働・社会保障相	ヴェダト・ウシュクハン	大学教授（社会政策）
環境・都市計画・気候変動相	メフメト・オズハセキ	カイセリ市長，環境・都市計画相
外相	ハカン・フィダン	トルコ国際協力調整庁長官，国家情報機構（MIT）長官
エネルギー・天然資源相	アルパルスラン・バイラクタル	エネルギー・天然資源省副大臣
青年・スポーツ相	オスマン・アシュクン・バク	青年・スポーツ相
国庫・財務相	メフメト・シムシェキ	財務相，経済担当副首相
内相	アリ・イェルリカヤ	イスタンブール県知事
文化観光相	メフメト・ヌーリ・エルソイ	留任
国民教育相	ユスフ・テキン	大学学長
国防相	ヤシャル・ギュレル	トルコ軍参謀総長
保健相	ファフレッティン・コジャ	留任
産業技術相	メフメト・ファーティフ・カジュール	産業技術副大臣
農業森林相	イブラヒム・ユマクル	農業森林副大臣
貿易相	オメル・ボラト	独立産業家・実業家協会（MÜSİAD）会長
運輸インフラ相	アブデュルカディル・ウラルオール	高速道路総局局長

開発相や経済担当副首相を歴任したジェヴデト・ユルマズは副大統領として入閣した。ユルマズの主な任務は経済関連省庁のコーディネーター役である。最低賃金引き上げなどの重要課題について様々な部署の調整を行うのが仕事となる。貿易相にはイスラム色の強い実業家団体 MÜSİAD のオメル・ボラト元会長が就任する。当然この人事は，エルドアン政権が今後もイスラム圏や湾岸アラブ諸国との経済関係を重視していくことを意味している。新しいエネルギー天然資源相となったのはアルパルスラン・バイラクタルである。彼はエネルギー天然資源省の官僚で，副大臣を務めた人物である。元駐日トルコ大使で現在は駐米トルコ大使のムラト・メルジャンの娘婿にあたり，エルドアン大統領とも近い。2018

年に行われた夫婦の結婚式には、エルドアン大統領、ビナリ・ユルドゥルム国会議長、そして当時のエネルギー天然資源相だったファティフ・ドンメズが立会人として出席している<sup>15</sup>。

## 5. 憲法改正が政治アジェンダに

エルドアン大統領は就任演説で憲法の全面的改正を当面の目標に掲げた。現行憲法は1980年クーデター後に軍事政権が作ったものである。1987年からこれまでに19回の部分的改正が行われてきたが、大統領は「真に民主的な憲法を一から作るべきだ」とこれまでもたびたび訴えてきた。そして憲法改正という重要な任務を任されたのはユルマズ・トゥンチ新法相である。イスタンブール大学法学部を卒業後、弁護士を経て2007年に与党議員となったトゥンチは、2020年から22年にかけて議会の法務委員会委員長を務めた。法相就任に際しては「トルコ国民にはより民主的な文民憲法がふさわしい」と述べ、「議会で合意がなされれば速やかに改憲を成し遂げたい」と意気込みを示した<sup>16</sup>。

ただし、与党 AKP は議会で憲法改正に必要な議席数を満たしておらず、ほかの政党の協力が不可欠となる。そこで当然与党は今回の選挙で連携した民族右派や親イスラム政党の支持を取り付けることになるが、その一つはクルド系のヒュダ・パルである。ヒュダ・パルは2012年に設立された合法政党であるが、1980年代末からトルコ国内でテロ活動を続けてきたクルド系スナ派イスラム組織「クルド・ヒズボラ」と密接な関係にある。「クルド・ヒズボラ」は2000年代には武装闘争路線から政治路線に転換し、2012年にヒュダ・パル設立に至る。2015年、2018年の選挙では議席獲得に失敗したが、今回の選挙では党首を含む5人が与党 AKP のリストから立候補し、4人が当選した。

ヒュダ・パルは、トルコ建国の父、ムスタファ・ケマル・アタテュルクの政治路線、いわゆる「ケマリズム（ケマル主義）」を否定する反システム政党である。党の反システム性は、憲法改正に対する見方に色濃く反映されている。トルコ共和国憲法第4条は、トルコ国家の基本的性格を定めた第1条から第3条までの改正を禁じている<sup>17</sup>。しかし、ヒュダ・パルはこれに真正面から異議を唱える。党のウェブページには憲法改正に関する意見が表明されており、そこでは「すべての条文が改正可能だ」と明確に述べられている<sup>18</sup>。このように、変更不可とされてきた（そして世俗派からは神聖視されてきた）憲法第1条から第3条を真っ向から否定する政党がトルコ議会に議席を獲得したことは軽視できない選挙

---

15 “[ABD Büyükelçisi'nin Damadı Alparslan Bayraktar da Kabinede,](#)” *Cumhuriyet*, June 4, 2023.

16 “[Adalet Bakanı Yılmaz Tunç'tan 'Yeni Anayasa' Sinyali,](#)” *Cumhuriyet*, June 4, 2023.

17 憲法第1条はトルコが共和国であることを宣言し、第2条はトルコ共和国がアタテュルクの理念にのっとり世俗的な国家であると規定する。第3条は国土と国民の不可分性を謳い、公用語（トルコ語）、国旗、国歌を定める。

18 <https://hudapar.org/yeni-anayasa.html>

結果である。

ヒュダ・パルと同じように、親イスラムの YRP も早くも憲法の全面的改正に支持を表明している。エルバカン党首は6月17日、トルコのテレビ番組に出演し、「新しい憲法の制定が望ましい。今の憲法は軍事政権の産物であり、根本的な改正が必要だ。我が党も当然支持する」と発言した<sup>19</sup>。

## 6. おわりに

5月の大統領選挙でエルドアン大統領は苦戦を強いられながらも勝利した。しかし議会では与党 AKP は単独過半数を割り込み、極右や宗教保守勢力が議席を増やす結果となった。エルドアン大統領は今後も安定した政権運営のためには民族右派の MHP、イスラム派の YRP やヒュダ・パルとの協力が欠かせない。したがって、憲法改正を含む内政面では、エルドアン政権はクルド政治運動には厳しい対応を続けていくと同時に、宗教的伝統的価値観を重視する政治を行っていただろう。就任演説でエルドアン大統領は国民の融和を訴えたが、実際にはトルコ社会の分断がさらに深まる可能性が高いといえる。

\* 本稿の内容は執筆者の個人的見解であり、中東協力センターとしての見解でないことをお断りします。

---

19 [“Erbakan ‘Milli Görüş Gericilik Değildir’ Diyerek Vurguladı: AK Parti İktidarında Kimsenin Yaşamına Müdahale Edilmedi,”](#) *Yeni Şafak*, June 17, 2023.